

COINHIVE事件の概要

COINHIVE: サイトを閲覧した人に仮想通貨のマイニングを行わせ、マイニングの利益をサイト運営者が受け取る

2019年2月、警察はこのCOINHIVEを設置した男性を不正指令電磁氣的記録取得・保管罪にあたるとして摘発した

- ・閲覧者の画面に表示されない

- 拒否する機会がない

- 意図に反する動作をさせる

プログラムだ

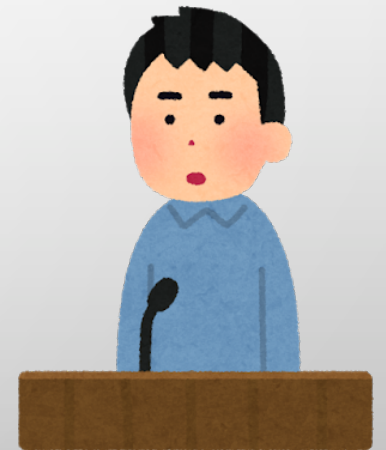
- ・使われるコンピュータの能力 大



訴えた側の主張

VS

COINHIVE側の主張



- ・インターネット広告トラッキングなどのユーザーにとって見えない機能と同様だ

- ・マイニングが新たなネットの収入源になる

教訓として

- 未知の科学技術を新たなビジネスとして使うことの難しさが露呈した
- プライバシーとデータ回収や仮想通貨の関係はかなりシビア
→総合的に考えて、どちらも疎かにないように

未知の技術は 現在の常識 に対してどうなのか、それは認められるものなのか、を考える必要がある